

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者スポーツ普及促進				所管	教育委員会 スポーツ振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	143	計画事業名	障害者スポーツ普及促進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり							[事業開始] 平成28年度 [終了予定] - 年度	
		[小 柱] (2)生涯スポーツ社会の実現								
		[施 策] ①スポーツに親しむ機会の提供								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	障害のある方ない方を問わず、広くスポーツの魅力を知ってもらうことを目的とする。 また、障害のある方とない方の相互理解が図られ、スポーツにより支えあう社会の実現を目指す。								
事業内容 [29年度]	多くの区民に障害者スポーツの魅力を知ってもらうため、障害の有無や体力に関わらず楽しめる障害者スポーツの体験会や初級障がい者スポーツ指導員養成講習会、障害者が参加できる継続的なスポーツ教室等を実施する。									
委託の有無	一部委託		委託内容	体験会、障害者水泳教室・障害者水泳指導員養成講習会、障スポチャレンジ、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	教室事業開催数		回	10	—	7	9	9	100.0%
		開放事業開催数		回	22	—	—	21	21	100.0%
	成果指標	教室事業参加者数		人	200	—	163	190	170	111.8%
		開放事業参加者数		人	250	—	—	245	210	116.7%
	決算額 (単位：千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				—		2,406		3,326
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				—		2,229		2,095
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				—		2,117		2,695
		総経費				—		290		631
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				—		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				—		1,846		2,661	
	一般財源 (区負担額)				—		2,790		2,760	
前回評価から29年度に改善した事項	平成30年度から評価対象となったため、前回評価なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京2020パラリンピック競技大会を契機に、障害のある方とない方の相互理解を図り、共生社会の実現を目指すため、大会を2年後に控え気運を高める必要性が増している。							
	効率性	3	既存スポーツ事業に障害者スポーツ体験会を取り入れての実施や、スポーツ推進委員等と連携して事業を実施する等、効率的に事業の運営ができた。							
	手段の適切性	3	事業ごとに、障害者スポーツに関する専門的知識を有する協会や現役選手の方々に企画・運営を依頼することは手段として適切である。							
目的達成度	4	各事業において、一定の参加者を集うことができ、障害者スポーツの普及が図られた。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
スポーツによって支えあう共生社会を実現するためには、区民の障害者スポーツに対する理解や関心を向上する必要がある。また、東京2020大会を控え、大会の気運を醸成するため、現在行なっている障害者スポーツ体験会事業等に加えて、区民がよりハイレベルな障害者スポーツを観戦する機会を設けるなど、事業の充実を図る必要がある。						拡大		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		